

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- 3月23日(水) 吉田貴子さん・黒川木綿子さん(歌・ピアノ)
中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非お越しください。
またロビー前の掲示板、病棟掲示板等で最新情報をお知らせいたしますのでご確認ください。

昭和大学横浜市北部病院公開講座のお知らせ

演題：『当院における緩和ケア - 緩和ケア病棟の紹介と実情 - 』
演者：中村明央医師(外科緩和ケア担当 助手) 沢田祐子 看護師長(緩和ケア病棟責任者)
日時：平成17年3月12日(土) 14:00~15:30
場所：西棟診療放射線学校4階講堂
定員：100名

なお、申込み方法につきましては、後日院内掲示および広報よこはまにて詳細をお伝えいたします。聴講をご希望される方は応募要綱をご確認の上ご応募ください。たくさんのご応募お待ちしております。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(=進捗報告)

| ご意見・ご要望 | 改善等 |
|--------------|--|
| 病室のベッド配置について | 『プライバシーの確保で部屋の中のカーテンをのぞかないとお見舞いに来た人が分からないのは、いかがなものでしょうか？カーテンに簡単な名札をつけるなど出来ないでしょうか？』 とのご意見をいただきました。 当院での4人床、5人床の配列は、すべて病室に入って左より時計回りに配置されています。例えば、4人床の3番ベッドに入院されている患者さまは、病室の左手から3番目のベッドとなります。また、病室の壁にそのお部屋に入室されているかたのお名前を記載させていただいておりますので、ご確認ください。お名前の記載されている、箇所に同様のことを記載する等運用については検討させていただきます。 |
| 正面入口の警備について | 『危ない人が侵入しそうです。入口にもっとガードをしてください。』とのご意見をお見舞いに来られた方よりいただきました。 12月半ばに報道された、全国の大学附属の医療機関を宛の脅迫怪文書事件の警戒と併せて、正面入口と正面西口に平日8:30~17:00 土曜:8:30~14:00まで警備員を配置し、出入口における警備の強化を図っております。院内で不審者・不審物等を発見した場合は、お近くの職員にお声がけください。 |
| 会計の待ち順番について | 『1台毎に列を作って並ぶ方式ではなく、銀行のATMの順番待ちのように1列に並ぶ方法のほうが良い』とのご意見をいただきました。 特に10時~12時ぐらいがピークとなっております1台につき4-5名の方が並ぶことがございます。ポール等の設置を検討したいと思います。また、2階の会計機は比較的混雑しておりませんので、ご利用ください。 |

編集後記

新年あけましておめでとうございます。この「病院だより」も早いもので第27号となりました。継続は力なりといいますが、この巻頭言だけ集めても立派な一冊の本になりそうです。また編集後記も毎回異なるスタッフが書いていますが、いろいろと個性があり、読んでいてなかなかおもしろいものです(編集後記の編集後記!?)。この先さらに50巻、100巻と延ばしていく予定ですのでよろしくお願いたします。さて、昨年流行したものはいろいろありますが、まず流行語大賞は北島選手の「チョー気持ちいい」でした。あの健康的で爽やかな笑顔は、病院にいる多くの「気持ちのすぐれない」患者さん達に安らぎと希望を与えてくれました。次に爆発的に流行した鳥インフルエンザは、今年も流行しそうで京都の鶏卵業者にも感染していた、といったニュースも流れています。“西年”の今年は、皆さんも特にお気をつけください。今年一年のご健康をお祈りしております。

広報委員会 委員 島田 誠

北部病院だより 第27号
平成17年1月11日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL: <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより

第27号

第27号【2005/1/11 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

新しい年を迎えて

病院長 田口 進

イベント情報

クリスマスイベント(小児病棟・緩和ケア病棟)
ロビーコンサート

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサート日程

患者様からのご意見・ご要望



新春の富士、晴れた日の夕暮れのレストランにて

巻頭言

『 新しい年を迎えて 』

謹賀新年



病院長
田口 進

皆様新年明けましておめでとうございます。穏やかな新しい年を迎えられたことと推察いたします。新たな年を迎え気持ちを引き締め今年に望みましょう。

さて、北部病院も開院して4年が経とうとしています。その間、全職員が病院の基礎を作るために大変な努力をしてきました。その甲斐があり、地域中核病院としての評価も年々高まり、全体としては順調に推移し、各方面から高い評価を頂いていると思います。これも一重に全職員の皆様の協力と努力のおかげと感謝しています。

昭和大学横浜市北部病院の使命の一つは、良い医療を提供することにあります。現在の医療環境の中での理想的な病院になることです。未来につながる病院でもなければなりません。そのためには、各人が常に目的意識をもった日常の行動が求められるわけです。昨年7月、前病院長・現名誉院長である黒川先生から届いた手紙の中にも“時を刻み日本の眼となり、主となるよう努力してください。やろうと思えば出来ると思います”、“和を大切に、暖かい言葉と笑顔で患者さんに接してください”と書かれてありました。

組織が大きくなり時間が経過すると、初心が薄れていくこともあります。

今年の4月には開院5年目となります。全職員が北部病院の基本理念を忘れることなく、常に向上しつづけることを目標とし、今年は今までに培ってきたことを更に大きく伸ばす年としたいと思います。

一方、診療の組織体制や職員の充足が早急に必要な診療部門もあります。病院管理体制の責任において、これら充実が必要な部門の早期の充実を力尽くしていきたいと考えています。

新研修医制度が始まり1年が経ちます。さらに充実した指導体制を作り若手医師の育成にも力を注ぎたいと思います。今までは、病院が新しくきれいであり、電子カルテやPACSも取り入れた最新医療設備も備えていることにより、北部病院に対する研修医の関心が高かったこともあると思います。これからはいかに充実した研修医教育を行ない、研修医を指導しその希望に沿った研修が行なえたのかにより評価され、さらには北部病院で研修を行ないたいとの希望に結びつくと思います。それには我々指導する立場の医師の、良い指導をするという熱意と態度が重要と考えます。将来の日本の医療、北部病院を担う若い医師を育てるために、指導医、上級医の一層の頑張りとお全職員の協力を期待します。

昨年は地震、津波や台風など、日本のみならず世界的にも災害の多い年でした。

今年は、世の中が平穏で平和な年になることを期待したいと思います。また、病院としては事故の無いように、さらに職員が健康で全力で仕事ができるように希望するものです。

